

2026 年度第 4 期生 4 月開講予定

看護師の特定行為研修

受講者募集要項

手には技術、頭には知識、患者様には愛を

社会医療法人財団 池友会

福岡和白病院

1. 特定行為研修の目的・目標

本研修の目的は、高度・地域医療において医療安全に配慮し高度な実践能力を発揮し、自己研鑽しながらチーム医療のキーパーソンとして活動できる看護師を育成する。

研修目標

1. 高度医療及び地域医療の現場において、迅速かつ包括的なアセスメントを行い、当該特定行為を行う上での知識、技術及び態度の基礎的能力を養う。
2. 高度医療及び地域医療の現場において、患者の安心に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実施できる基礎的能力を養う。
3. 高度医療及び地域医療の現場において、問題解決にむけて、多職種と効果的に協働できる能力を養う。

2. 定員:2026年度 第4期生

定員 13名

1) 基本受講モデル

領域別パッケージ研修	区分別科目(当研修機関で必須)	人数	留意点
術中麻酔管理領域	i 呼吸器(気道確保に関わるもの)関連 ii 栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連 iii 栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈用カテーテル管理)関連 iv 動脈血液ガス分析関連	8名 (選択で受講する者を含む)	選択受講者含む最大8名 選択受講者はすでに何らかの特定行為研修を修了している者に限る 履修免除あり「10. 履修免除要件」参照
外科系基本領域	i 呼吸器(気道確保に関わるもの)関連 ii 栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈用カテーテル管理)関連	2~3名	外科系基本領域と在宅・慢性期領域を合わせ最大5名
在宅・慢性期領域	精神および神経症状に係る薬剤投与関連	2~3名	

3. 研修期間と募集時期

研修期間: 1年

共通科目を修了後に区分別科目を受講開始する。

研修期間は原則1年です。在籍期間は、最長3年間とする。万一、臨床実習期間を延長となった場合は、別途研修費用が掛かります。

募集時期 年1回(4月開講)

4. 受講資格

次の 1) から 4) の全ての要件を満たす社会医療法人財団池友会・一般社団法人巨樹の会・社会福祉法人あきの会に勤務する看護師もしくは福岡県内で、日本国内の看護師国家試験における看護師免許を有する看護師であること

- 1) 日本国内の看護師国家試験における看護師免許を有し、通算5年以上の実践経験を有する看護師であること
- 2) 看護職賠償保険に加入していること
- 3) 所属長の推薦を有すること
- 4) 研修で行う臨地実習は、受講者の所属施設で行うことが原則可能であること

他の特定行為研修指定研修機関等で既に履修した学習内容が、本研修の共通項目と同等のカリキュラムと認定された場合には、関連する共通項目の受講において、共通科目の e-ラーニングの受講・演習・実習・修了試験が免除、または一部免除（「10. 履修免除要件」参照）で受講できます。

5. 研修内容と時間数

研修は、共通して学ぶ「共通科目」と特定行為区分ごとに学ぶ「区分別科目」に分かれており、講義、演習または実習によって行われる。

- 1) 共通科目(必修科目): 特定行為区分に共通して必要とされる能力を身につけるための科目(研修期間: 約 6 か月)

科目	時間数				
	講義	演習	実習	評価	合計
臨床病態生理学	29	1		1	31
臨床推論	26.5	16	1	1.5	45
フィジカルアセスメント	17.5	8.5	13.5	5.5	45
臨床薬理学	32.5	11.5		1	45
疾病・臨床病態概論	37	3		1	41
医療安全学/特定行為実践	24.5	14	4.25	2.25	45
合計	167	54	18.75	12.25	252

* 共通科目は e-ラーニングを中心とした講義を受講し、科目ごとの確認テストに合格して修了となります。

* 演習は関連する e-ラーニング講義を履修したのち実施し、演習課題への解答後、指導者の対面による解説を受けて、最終レポート提出したのちに合格した者が修了となります。

* 実習は関連する講義・演習を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たして修了となります。

* 講義・演習・実習すべてを終了後、科目修了試験を実施し、合格した者を履修修了とします。

2) 区分別科目(必修・追加科目):各特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目(研修期間:約6か月)

A セット 特定区分(術中麻酔管理領域パッケージ+3区分5行為) 受講生最大8名
 i 呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連、ii 栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連、iii 栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連、iv 動脈血液ガス分析関連)選択して受講できる受講生は3名までとし、パッケージ受講者と区分を選択(i~iv)する受講者を合わせ、定員を最大8名とする。

特定行為区分	時間数				
	講義	演習	実習	評価	合計
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	8	—	5 症例	1 (OSCE)	9+ 5 症例
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	20.5	6	各 5 症例	2.5	29+ 各 5 症例
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	7	—	5 症例	1 (OSCE)	8+ 5 症例
栄養に係るカテーテル(中心静脈カテーテル管理)関連	6	—	5 症例	1	7+ 5 症例
栄養に係るカテーテル(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	7	—	5 症例	1 (OSCE)	8+ 5 症例
動脈血液ガス分析関連	11.5	—	各 5 症例	1.5 (OSCE) × 2	13+ 各 5 症例
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	9	1	5 症例	1	11+ 5 症例
術後疼痛管理関連	5.5	1.5	5 症例	1	8+ 5 症例
循環動態に係る薬剤投与関連	8.5	2	5 症例	1.5	12+ 5 症例

【選択できる区分】 妥当か

- i) 呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連、呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連
- ii) 栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連
- iii) 栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連
- iv) 動脈血液ガス分析関連

B セット: 外科系基本領域+2 区分 4 行為

呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連、栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連

2~3 名(C セットと合わせ最大 5 名)

特定行為区分	時間数				
	講義	演習	実習	評価	合計
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	7	—	5 症例	1 (OSCE)	8+ 5 症例
栄養に係るカテーテル管理 (中心静脈カテーテル管理)関連	6	—	5 症例	1	7+ 5 症例
栄養に係るカテーテル管理 (末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	7	—	5 症例	1 (OSCE)	8+ 5 症例
創傷管理関連	31	—	各 5 症例	3 (OSCE)	34+ 各 5 症例
創部ドレーン関連	5	—	5 症例	1	6+ 5 症例
動脈血液ガス分析関連	11.5	—	各 5 症例	1.5 (OSCE) × 2	13+ 各 5 症例
栄養及び水分管理に係る 薬剤投与関連	9	1	5 症例	1	11+ 5 症例
感染に係る薬剤投与関連	21	6	5 症例	2	29+ 5 症例
術後疼痛管理関連	5.5	1.5	5 症例	1	8+ 5 症例

C セット:在宅・慢性期領域パッケージプラス 1 区分 4 行為
 精神および神経症状に係る薬剤投与関連
 2~3 名(B セットと合わせ最大 5 名)

特定行為区分	時間数				
	講義	演習	実習	評価	合計
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	7	—	5 症例	1	8+ 5 症例
ろう孔管理関連	14.5	—	5 症例	1.5 (OSCE)	16+ 5 症例
創傷管理関連	31	—	各 5 症例	3 (OSCE)	34+ 各 5 症例
栄養及び水分管理に係る 薬剤投与関連	9	1	5 症例	1	11+ 5 症例
精神および神経症状に 係る薬剤投与関連	19	4.5	各 5 症例	2.5	26+ 各 5 症例

- (1) 区分別科目は e-ラーニングを中心とした講義を受講し、確認テストに合格する
- (2) 演習は関連する e-ラーニング講義を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす。
- (3) 実習(患者に対する実技)は関連する講義・演習(ペーパーシミュレーション)・手技練習(模擬患者の活用、シミュレーターの利用等のシミュレーションによる学習)を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす。
- (4) OSCE のある科目に関しては、実習(患者に対する実技)の前に OSCE に合格する必要がある。
- (5) 各項目の臨床実習を実施後レポート提出、合格するまで 5 症例実施し、その後各項目の修了試験に合格する。

各特定行為内容

A セット: 術中麻酔管理領域+3 区分 5 行為 特定行為内容

区分名	特定行為	受講
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	必須
呼吸器(人工呼吸療法に関わるもの)関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	必須
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更	追加
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静剤薬の投与量の調整	追加
	人工呼吸器からの離脱	必須
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	気管カニューラの交換	追加
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	中心静脈カテーテルの抜去	追加
栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈用カテーテル管理)関連	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	追加
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	必須
	橈骨動脈ラインの確保	必須
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	除外
	脱水症に対する輸液による補正	必須
術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	必須
循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	除外
	持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロール投与量の調整	除外
	持続点滴中の降圧剤投与量の調整	除外
	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	必須
	持続点滴中の利尿剤投与量の調整	除外

* 「必須」は術中麻酔管理領域の必須項目です。

* 「追加」の項目は当研修の A セットに追加で含まれており、当研修機関では必ず受講する項目です。

* 「除外」は A セットに含まれず、受講しない項目です。

B セット: 外科系基本領域+2 区分 4 行為 2~3 名(C セットと合わせ最大 5 名)

区分名	特定行為	受講
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	気管カニューラの交換	追加
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	中心静脈カテーテルの抜去	必須

栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	追加
創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去(褥瘡・慢性創傷における腐骨除去)	必須
	創傷に対する陰圧閉鎖療法	追加
創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去	必須
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	必須
	橈骨動脈ラインの確保	追加
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	除外
	脱水症に対する輸液による補正	必須
感染に係る薬剤投与関連	感染徴候がある者に対する薬剤の臨時の投与	必須
術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	必須

* 「必須」は外科系基本領域の必須項目です。

* 「追加」の項目は当研修の B セットに追加で含まれており、当研修機関では必ず受講する項目です。

* 「除外」は当研修機関の B セットに含まれず、受講しない項目です。

C セット:在宅・慢性期領域+1区分4行為 2~3名(B セットと合わせ最大 5 名)

区分名	特定行為	受講
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	気管カニューラの交換	必須
ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	必須
	膀胱ろうカテーテルの交換	除外
創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去(褥瘡・慢性創傷における腐骨除去)	必須
	創傷に対する陰圧閉鎖療法	追加
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	除外
	脱水症に対する輸液による補正	必須
精神および神経症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時の投与	追加
	抗精神病薬の臨時の投与	追加
	抗不安薬の臨時の投与	追加

* 「必須」は在宅・慢性期領域の必須項目です。

* 「追加」の項目は当研修の C セットに追加で含まれており、当研修機関では必ず受講する項目です。

* 「除外」は当研修の C セットでは、受講しない項目です。

(1) 当研修機関の基本受講モデル

	領域別パッケージ	区分別科目(必須)＋追加の区分	備考
Aセット	術中麻酔管理領域 3区分5行為	i 呼吸器(長期呼吸療法に係るもの) ii 栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連 iii 栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈カテーテル管理)関連 iv 動脈血液ガス分析関連	Aセットのi～ivは選択できる区分(選択は既に「何らかの特定行為の研修を修了している者に限る」)
Bセット	外科系基本領域 2区分4行為	栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	
Cセット	在宅・慢性期領域 1区分4行為	精神および神経症状に係る薬剤投与関連	

(2) 区分別科目を選択して受講できるモデル

区分別科目	特定行為	備考
i 呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	気管カニューラの交換	・既に特定行為研修を修了している者対象「10. 履修免除要件」参照 ・履修免除あり
ii 栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	中心静脈カテーテルの抜去	
iii 栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈カテーテル管理)関連	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	
iv 動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血 橈骨動脈ラインの確保	

* 研修の進捗表は入校式に配布します

6. 修了要件

本研修を修了するためには、次の条件を満たすこと。

- 1) 共通科目を全て履修し、筆記試験もしくは観察評価に合格すること。
- 2) 共通科目修了後、選択した区分別科目を履修し、修了試験に合格すること。

※本研修修了者には、保健師助産師看護師法第37条の2第2項第1号に規定する特定行為及び同項第4号に規定する特定行為研修に関する省令に基づき、修了した特定行為区分ごとの修了証を交付し、研修修了者の名簿を厚生労働省に提出します。

* 演習・実習・OSCE 開催日は評価者の都合により変更になることもありますので予めご周知ください。

* 変更一か月前にはお知らせいたします。演習・実習・OSCE・修了試験日に受講できなかった場合は翌年の受講になりますので、受講できるように調整してください。

7. 受講料(共通科目含む)

	社会医療法人財団池友会・ 一般社団法人巨樹の会・社 会福祉法人あきの会に所 属する看護師	社会医療法人財団池友会・ 一般社団法人巨樹の会・社 会福祉法人あきの会以外に 所属する看護師
1. A セット:術中麻酔管理領域 +3 区分 5 行為	700,000 円	800,000 円
2. B セット:外科系基本領域 +2 区分 4 行為	600,000 円	700,000 円
3. C セット:在宅・慢性期領域+ 1区分 4 行為	600,000 円	700,000 円
4. 選択して受講 (特定行為区分 1 区分につき)	40,000 円	80,000 円

* 4. 選択して受講は、本研修の同等のカリキュラム共通科目の e-ラーニングの受講・演習・実習・修了試験を修了した方を対象としていますので、共通科目の受講料は含まれません。

8. 研修中の必要経費

- 1) 受講料以外に学習に必要なテキスト等の書籍費が別途必要になります。
- 2) 研修のための宿泊および交通費等は各自で実費負担となります。

9. 研修場所および臨地実習場所

- 1) 研修場所:社会医療法人財団 池友会 福岡和白病院
- 2) 区分別科目の臨地実習は、基本的に受講生の所属施設での実習をお願いします。研修修了後に継続して指導医の指導を受け、各施設の体制に則した特定行為の実践基盤を持つことが重要であるため、臨地実習は所属施設を協力病院として実施できるよう調整しています。
- 3) 所属施設で臨地実習を行う際には、厚生労働省に別途書類提出(特定行為項目の症例数)が必要となります。書類の提出は当研修機関が致しますが、受講する特定行為項目の症例数が所属施設で確保できるのか確認してください。詳細については事務局へお尋ね下さい。

10. 履修免除要件

- 1) 既に特定行為研修を履行した者は、共通科目の e-ラーニングの受講・演習・実習)修了試験が免除、または一部免除で受講できます。
- 2) 特定行為研修を履行していないが、施設によってラダー等で共通項目の e-ラー

ニング受講が修了している者は、視聴した e-ラーニング視聴履歴(履修証明書 3 年以内のもの)等があれば e-ラーニング視聴の免除ができますが、演習、実習、修了試験、OSCE の受講は必要です。

* 免除、または一部免除の判断は、特定行為管理委員会が受講者の履修証明等で本研修の同等のカリキュラムであるかを確認・協議し、免除、または一部免除できる項目を判断します。受験申込時に履修証明書の提出をお願いします。

11. その他

1) 看護職賠償責任保険について

本研修の受講決定後は、開講式までに看護職賠償責任保険にご加入下さい。研修中は看護職賠償責任保険の加入が条件になりますので、翌年 4 月に再加入が必要になります。保険加入後、コピーを特定行為担当看護師に提出して下さい。

2) ウイルス抗体価検査・ワクチン接種証明について

区分別実習が始まる前に、①流行性疾患(麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎など)②B 型肝炎のワクチン接種、交代価検査の証明書が必要になります。

応募要領

1. 出願期間・試験日・試験科目・合格発表・手続き期間

項目	日程
出願期間(当日必着)	2025年12月22日(月)～2026年1月16日(金)
一次審査	書類審査
一次審査合格発表	2026年1月30日(金)本人宛てに簡易書留で郵送
二次審査	2026年2月14日(土)8時30分受付、9時開始
二次審査試験科目	小論文試験(50分)、面接試験
二次審査合格発表	2026年2月24日(火)本人宛てに簡易書留で郵送
手続き期間(当日必着)	2026年3月2日(月)～3月13日(金)

2. 出願手続き

1) 提出書類

- (1) 受講申請書(様式1)
- (2) 履歴書(様式2)
- (3) 志願理由書(様式3)
- (4) 推薦書(様式4)
- (5) 看護師免許証(写し、A4サイズ)
- (6) 受験票
- (7) 写真票(写真1枚 サイズ縦40mm×横30mm)

※写真の裏面には氏名を記入してください。

※書類提出封筒サイズは角2号で提出してください

- (8) 返信用封筒(封筒サイズ:長3号)2枚に、受験者の氏名、郵便番号及び住所を記入してください。定形郵便110円、簡易書留郵便相当分350円切手をそれぞれの封筒に貼付してください(110円×2枚・350円×2枚)。

※提出の書類の返却は致しません

2) 送付先及

【送付、持参先】

〒811-0213 福岡県福岡市東区和白丘 2-2-75

社会医療法人財団 池友会 福岡和白病院

看護師特定行為研修係

※提出書類は必ず「郵便書留」で送付するか、直接持参して下さい。

3) 審査料

① 審査料

社会医療法人財団池友会・一般社団法人巨樹の会・社会福祉法人あきの会に所属する看護師	社会医療法人財団池友会・一般社団法人巨樹の会・社会福祉法人あきの会以外に所属する看護師
10,000 円	20,000 円

納付期間:2025 年 12 月 15 日(月)～2026 年 1 月 16 日(金)

審査料は「審査料及び研修費用についての振込先」をご確認の上、振り込みをお願い致します。

③振込手数料は、ご依頼人の負担となります。

④「振込金受領書」をもって領収書に代えますので、保管してください。

※納めた審査料は原則として返還しません。

4) 審査料及び研修費用についての振込先

振込先銀行名:北九州銀行 本店営業部

口座番号:普通預金 No.6178585

口座名義:社会医療法人財団池友会 シャカイイリヨウホウジンザイダンチュウカイ

振込依頼名:冒頭にトクテイコウイと付け、その続きにフルネームを記入

例:トクテイコウイ ワジロ タロウ

3. 選考方法

- 1) 一次審査・・・書類審査(合否 2026 年 1 月 30 日(金)本人宛てに簡易書留で郵送)
- 2) 二次審査・・・小論文、面接試験により行います

4. 二次審査試験会場と時間

- 1) 試験会場:社会医療法人財団 池友会 福岡和白病院 PET3 階会議室予定
- 2) 日程:2026 年 2 月 14 日(土)8:30 より受付開始(PET2 階小会議室)
- 3) 時間割

試験科目	時間
受付(PET2 階小会議室)	8:30～8:55
オリエンテーション(PET3 階会議室)	8:55～9:00
小論文(50 分)(PET3 階会議室)	9:00～9:50
面接オリエンテーション(PET2 階小会議室)	9:55～10:00
面接(PET3 階会議室)	10:00～終了まで

4) 試験に持参するもの

- (1) 筆記用具(鉛筆、消しゴム)
- (2) マスク持参が望ましい

5. 選考結果発表について

選考結果については、2026年2月24日(火)に本人宛て簡易書留にて郵送致します。電話やFAX、メール等での合否のお問い合わせの対応は致しません。

6. 受講手続きと納付金について

選考結果発表後合格された方は、受講料を「審査料及び研修費用についての振込先」をご確認の上、振り込みをお願い致します。

1) 受講手続き、納付期間 2026年3月2日(月)～3月13日(金)

2) 納付金「受講料」参照

- ① 振込依頼名は冒頭にトクテイコウイと付け、その続きに名前を記入してください。例:トクテイコウイ ワジロ タロウ
- ② 振込手数料は、ご依頼人の負担となります。
- ③ 「振込金受領書」をもって領収書に代えますので、保管してください。
※納めた受講料は原則として返還しません。
※研修のための宿泊及び交通費等は各自にて実費負担となります。

7. 助成金について

1) 福岡県で行っている助成金

令和7年度は「令和7年度 福岡県特定行為研修推進事業費補助金」制度がありました。令和8年度については令和7年10月末時点では公表されていません。詳しくは「福岡県特定行為研修推進事業費補助金」で検索してください。

【お問い合わせ先】

福岡県 保健医療介護部 医療指導課 医師・看護職員確保対策室
看護職員確保係

電話番号 092-643-3276

電子メール kango@pref.fukuoka.lg.jp

8. 募集受講生の今後の日程(目安)

2026年4月2日(木) 入講式・オリエンテーション予定

2026年4月2日(木) 共通科目受講開始予定

2026年8月下旬 共通科目修了判定

2026年9月上旬 領域別パッケージ・区分別科目受講開始

2027年3月上旬 領域別パッケージ・区分別科目レポート最終提出・修了試験

2027年3月下旬 領域別パッケージ・区分別科目修了判定・修了式

9. 個人情報の取り扱いについて

●個人情報の取り扱いについて

福岡和白病院では「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じております。出願および受講手続きにあたって提供いただいた個人情報は、選考試験の実施、合格発表、受講手続き、履修関係等の必要な業務において使用させていただきます。なお、当院が取得した個人情報は、法律で定められた適正な手続により開示を求められた場合以外に、本人の承諾なしに第三者へ開示・提供することはありません。

10. 研修に関する書類の送付先及び問い合わせ先

1) 送付先

〒811-0213

福岡県福岡市東区和白丘2丁目2-75

社会医療法人財団 池友会 福岡和白病院

看護師特定行為研修 係

2) 問い合わせ先

社会医療法人財団 池友会 福岡和白病院

看護師特定行為研修係

e-mail: kango-shinryo@f-wajirohp.jp

電話: 092-608-0001 (代表) 内線: 29490

窓口: 福岡和白病院 看護診療サポート室

特定行為担当看護師

アクセス



電車を利用の場合

- JR九州 鹿児島本線 福工大前駅下車:徒歩 15分
- JR九州 香椎線 和白駅下車:徒歩 10分
- 西鉄電車 貝塚線 和白駅下車:徒歩 10分

バス・タクシー(車)を利用の場合

- 西鉄バス 和白丘バス停下車:徒歩 3分
- 福岡空港から車:約 30分

社会医療法人財団 池友会 福岡和白病院

看護師特定行為研修担当

〒811-0213

福岡県福岡市東区和白丘 2-2-75

社会医療法人財団 池友会 福岡和白病院

看護師特定行為研修係

TEL. 092-608-0001(代表) 内線:29490